



大当たりランプが点滅、ジャラジャラと玉の落ちる音が東京・池袋のサンシャイン60の一角に響きます。

最高部239階のビル29階にある本社ショールームを地域の高齢者施設に開放している

のです。

## サミー(株)

パチンコやパチスロは初めてというお年寄りもいて、社員が付き添っては遊び方などを説明していただきます。多い時は10人くらいの方が参加して、遊ばれているそうです。

パチンコ・パチスロメーカーの大手・

サミー株式会社の、この活動が始まったのは20

06年でした。CSR（企業の社会的責任）活動の一環として、社員から「ショールームを開放し、お年寄



ショールームでパチンコを楽しむ高齢者たち

環境への取り組みのひとつ、川越工場の屋上庭園



そして、この活動は東京支店をはじめ、仙台、札幌、広島にも広がり、全国的な展開へと繋りをみせています。

サミーのCSR活動は多岐にわたっています。環境への取り組みとして、川越工場の屋上庭園が挙げられます。ここは社員の憩いの場となっており、工場敷地全体の緑化率は32%と埼玉県基準25%を大幅に上回っています。工場の廃棄紙を利用したフラワーポットは工

場見学をされた方へのお土産にも使われています。

また、同社の親会社であるセガサミーホールディングス(株)でも、実業団野球部による活動や様々な協賛活動を実施しており、グループをあげてCSR活動を推進しています。

これらの活動は「エンターテイメントがもたらす感動を世界中のあらゆる人々にお届けしたい」という理念から生まれており、社員も常に社会に目を向ける姿勢を大切にしている表れと言えます。

参加した高齢者たちは、「初めてだったが、楽しかった」「若い人との話が出来てよかった」など楽しいひと時を過ごしたという感想を口にしています。

一方、受け入れる側では社員がボランティアとして参加し、積極的に遊技方法を教えるなどして取り組んでおり、「ご年配の方が生き生きとされている様子が非常に印象的でした」と元気をもらっているといます。遊技機を媒介にして高齢者との自然な形の交流が生まれています。